

長崎被災協・被爆二世の会・長崎

ニュースNo. 4

2013年4月11日発行

長崎市岡町8-20被災協気付

電話 095-844-0958

長崎被災協・被爆二世の会・長崎

「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」写真パネル展

長崎被災協・被爆二世の会・長崎 会長 佐藤 直子

私たち“長崎被災協・被爆二世の会・長崎”は、3月2・3日の2日間にわたって「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」写真パネル展を開きました。



私たちの会は、昨年5月に発足し、現在会員が60名を超えました。これまでは、平和祈念式典や不戦の集い・核実験への抗議座り込み・平和大行進・署名運動などに参加し、被災協の被爆者の方々と一緒になって活動してきました。

今回のパネル展は、私たち二世の会のメンバーで企画・運営し、会として市民に向けて初めて活動をアピールする場となりました。

3月4・5日にノルウェーのオスロにて「核兵器の非人道的結果に関する国際会議」が開かれることを受け、被爆地長崎からも「核兵器廃絶」と「世界平和」を訴えようとこの日に開催する運びとなりました。

場所は、長崎原爆資料館に隣接する国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の交流ラウンジをお借りし、2日間でおよそ200名の市民や観光客の方にお越し頂き、盛況のうち終了しました。



パネル展をご覧になった方からは、「写真を間近で見られる上、説明が付いていてとてもわかりやすかった。」という感想をたくさん頂きました。ただ、長崎は多くの外国人観光客がいらっしゃるのので、今回は英語の説明文を添付しようと思います。今回はパネルの展示だけでなく、両日とも午後1時から「ナガサキの少年少女たち」「にんげんをかえせ」の映写会を行い、午後2時から1時間、被爆者による被爆体験講話の時間を設けました。前もって近所のいくつかの学童施設に声掛けをし、およそ60名の子供たちに貴重な体験講話を聴いてもらいました。後日たくさんの感想文を

届けて頂きましたが、子供らしい純粋な気持ちが表れていて、とても感動しましたので、一部紹介します。



*「広島、長崎いがい アメリカにおちたら、いやなきもちになるでしょう。自分がされたくないことは、人はやってはいけないと思います。だから、げんばくは、いや。いまのまま、へいわをつづきたいです。」【2年生】

*「今回、ひばく体けんこう話を聞いて、昔せんそうしていた時代は、亡くなった人が多かったんだとあらためて思いました。さい初（映写会）のえいそうは、友だちに「見てはいけない物を見た」と言ったけど、昔の人はたくさんそういう人を見たんだと思って、見てはいけない物を見たと言った自分は、わるいことをしたなと思いました。今回の話は、じゅ



ぎょうとかに やくにたったらいいなと思いました。」【3年生】

このように、子供たちに少しでも原爆の怖さ・実相を知ってもらい、平和の大切さを分かってもらえただけでも、この写真パネル展を開いた意味があったと実感しました。

今後も、さまざまな場所で定期的に写真パネル展を開いていこうと思っています。

二世健診を受診しましょう！！

申込期間は平成25年4月1日から翌年2月14日まで、受診は平成25年4月8日から翌年2月28日までです。平成23年度の二世健診の受診者は全国で17,600名、そのうち長崎県(長崎市を除く)で815名、長崎市で3,585名でした。(24年度の受診者数は5月公表)

二世健診の内容充実を行政機関に要望するためにも受診者数、実績が大事です。

まわりの二世に呼びかけて、受診者数を増やしましょう！！

「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」2013年度 総会

と き 4月27日(土) 13:30~15:30

と ころ 被災協 地下講堂

オープニング 歌とギター演奏
(by 「はむ ing はーと」)

原爆詩朗読 (佐藤直子、石川義子)

議 題 2012年度活動報告
決算報告 会則の改定案
役員選出 新役員紹介
2013年度活動計画、予算案

ぜひ総会へご参加ください！！



2012年5月27日 二世の会発足のようす



2012年7月7日 二世の会で被爆体験を聞く



2012年7月28日平和の灯のキャンドル作り



日本被団協木戸事務局次長



2012年11月17,18日 「被爆者運動継承の学習会」